

2020年12月10日(木)

老球の細道580号

偉大なコーチ山崎先生の思い出 PARTXII

会津バスケットボール協会 室井 富仁

◆7月24日(金)

今日は朝から一日中ゲームだった。今日の相手はエバンズビル地区内の寄せ集めチームで身長の高い選手や小さい選手など色々な選手たちが集まって来た。

試合二日目になると、さすがに会津高校生である。アメリカの高さ、パワーにも対抗できるようになってきた。ディフェンスはオールコートでがんばり、ナイスゲームが目白押しとなった。特にBチーム(1年生チーム)は劣勢状態からディフェンスの頑張りで追い上げ、1点差まで追い上げる場面も見られるようになった。Bチームのディフェンスは地元のスタッフ達から「グッドジョブ!」と絶賛された。

新キャプテン2年生の猪股(正)君のゴール下、1年生の斎藤(隆)君(3年時国体県選抜選手)、渡部(大)君(川南ミニバスコーチ)の強気なプレイが光っていた。

〈付記:アメリカとか日本一のチームというものすごく強くて、とても自分たちはかなわないと決めつけてしまうが、何回かゲームをすると自分たちもそれ相応にやれることに気がつく。要は慣れることであり経験である。私たちは他人から自分を決めつけられると怒るが、自分で自分を決めつけることは平気である。鬼滅の刃が話題になる昨今、きめつけの刃を自分に向けてはいけない。基本は、同じ人間であり、同じ高校生である。違いは、必死で練習しているか、普通にやっているかの違いである〉

試合の結果は下記の通り。

会津B 41-57 エバンズビル選抜

会津A 66-74 //

会津B 53-60 //

会津A 51-25 徳島城北高校

会津B 36-43 エバンズビル選抜

思わぬ人物が試合会場に姿を見せた。バスケットボール誕生の地、マサチューセッツ州のスプリングフィールド大学(元YMCA国際トレーニングスクール、ネイスミスがバスケットボールを創案した地)に会津から留学している鈴木良子さんである。会津高校がエバンズビルに来ているということを聞き、わざわざ飛行機で会いに来てくれた。

鈴木さんは、日新ミニバス、若松三中でバスケットボールを経験した文武両道の才女である。故佐々木靖夫氏(元会津ミニバス連盟会長、会津高校バスケットボールOB会長)に日新ミニバス時代に指導された。彼女はバスケットボールの歴史を勉強したいということで、会津女子高校(現葵高校)を卒業するとすぐにアメリカに渡りこの大学に留学したという。

ゲーム終了後、会津高校スタッフ4人(私、OB3人)主催で鈴木良子さんとミニ懇親会を開いた。ナイスゲーム後のバスケット談話とアルコールは「至福の一時BIG3」の一つ。〈続〉